

見積参考資料

広島高速道路料金収受業務の見積における主な参考資料は以下のとおり。

1 直接経費

(1) 人件費

職 種	数量	単位	本給	手 当
総括営業所長	1	人	4 級 1 7 号	通勤・特別の各手当
事務責任者	4	人	3 級 1 3 号	通勤・特別の各手当
事務員	6	人	1 級 2 5 号	通勤・特別の各手当
収受主任	7	人	1 級 1 1 号	通勤・夜間勤務・時間外・特別の各手当
収受員	2 0 5	人	1 級 3 号	通勤・夜間勤務・時間外・特別の各手当

①業務責任者打合せ費の単価は、総括営業所長 1 日あたりの額の 1 / 2 で、回数は、1 2 回 / 年を見込んでいます。

②収受主任及び収受員については、1 日 2 4 時間の 3 交代制による数量としている。

③本給及び手当については、広島高速道路公社職員給与規程（以下「規程」という。）により見込んでいる。（規程では、特別手当は期末及び勤勉手当と定めている。）

④時間外手当については、収受主任及び収受員 1 人あたり年間 8 時間を見込んでいる。

(2) 現場管理費

①備品費

区 分	数量	単位
複合機リース	1	台（営業所毎）
パソコンリース	1	台（営業所毎）
紙幣計数機保守	1	台（営業所毎）
硬貨選別計数機保守	1	台（営業所毎）
通行券専用計数機保守（宇品営業所のみ）	1	台

②消耗品費

○営業所雑費

区 分	数量	単位
OA用紙	35,000	枚 / 年（営業所毎）
感熱記録紙	200	巻 / 年（営業所毎）

○キャノピー蛍光灯

区 分（料金所名）	数量	単位
都市高速広島東	6 6	本 / 年
福田・間所・矢賀・府中・大州・東雲・宇品・仁保・ 出島・吉島・都市高速観音	4 7 8 (左記料金所合計本数)	本 / 年
馬木・温品・沼田	1 3 6	本 / 年

○メインブース及びサブブース消耗品

区 分	数量	単位
メインブース（ON/OFF）消耗品【蛍光灯】	9	本／年（1箇所あたり）
サブブース（ON/OFF）消耗品【蛍光灯】	5	本／年（1箇所あたり）
メインブース（OFF側）消耗品【領収書用紙】	730	巻／年（1箇所あたり）
サブブース（OFF側）消耗品【領収書用紙】	730	巻／年（1箇所あたり）

③車両費

○車両費

車両リースは、8人乗り普通乗用車3台及び5人乗り普通乗用車4台のリースを見込んでいる。

○燃料費

車両7台分の1年間の燃料使用量は7,476リットルを想定している。
レギュラーガソリン単価は、168円（税抜）を想定している。

④通信運搬費

○電話代は1営業所ごと1回線で、3分間10回／日の通話を想定している。

○切手代は1営業所ごとに定形郵便（25g以下）30通／年を想定している。

⑤福利厚生費

区 分	数量	単位
定期健康診断料	435	人

※収受主任及び収受員は年2回、その他の職種は年1回を見込んでいる。

⑥保険料

○現金盗難保険1回あたり保証金額1,000万円以上。年間見込輸送額7億円。

○保険料については、保険料率0.651（100円につき、0.651銭）で見込んでいる。

1の直接経費については、全て参考資料として数量等を示すものであり、変更対象とはしない。

2 間接経費

（1）一般管理費率等

一般管理費については「令和7年8月広島高速道路公社土木工事標準積算基準 I-50」の記載に基づき、

- ・別表第1（2）の算定式により算定。
- ・別表第2 一般管理費等率の補正 前払金支出割合区分「0%から5%以下」の補正係数により算定。
- ・別表第3の契約保証に係る一般管理費等率の補正 ケース1の補正值により算定。

以 上